

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 バッファロー

コード番号 3352 URL <http://www.buffalo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂本 裕二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 日下部 直喜

TEL 048-256-6213

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,268	△0.1	98	△18.1	153	△6.2	71	△18.8
22年3月期第2四半期	4,270	△9.2	119	4.5	164	4.6	87	19.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3,450.55	—
22年3月期第2四半期	4,250.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	5,461	3,903	71.5	189,359.36
22年3月期	5,207	3,863	74.2	187,405.95

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,903百万円 22年3月期 3,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
23年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
23年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,704	2.3	211	△17.0	280	△18.0	145	△8.6	7,033.71

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 20,616株 22年3月期 20,616株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1株 22年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 20,615株 22年3月期2Q 20,615株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(第2四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報	8

※ 当社は、平成22年11月10日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催を予定しております。
この説明会の内容については、その概要を後日当社ホームページに掲載する予定であります。

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国の経済は、景気に一部回復の兆候が見られたものの企業収益の縮小、設備投資の抑制、雇用情勢への不安等による個人消費の低迷等、依然、先行きは不透明な状況が続いております。

カー用品市場におきましても同様に、カーユーザーの高額商品の買い控えによる販売価格の下落等、厳しい状況が続いております。

この様な環境のもと当社は、カーエレクトロニクス部門の販売低迷等による減収に対し、タイヤ・オイル・バッテリー等の消耗用品の更なる販売強化と、車検を中心とした整備・板金塗装等のピットサービスの業容拡大を積極的に進め、売上総利益率の向上に注力してまいりました。

また、当第2四半期累計期間において「オートボックス練馬店」を開設(平成22年4月)したことと、既存店舗においては、「スーパーオートボックス桶川」をメンテナンス系商品の品揃えを充実させ、より地域に密着した店舗を目指して「オートボックス桶川店」に業態変更したほか、お客様の視線に立った「誰にでも分かりやすく、買い物をしやすい店舗」への改革を行うべく、「スーパーオートボックスTODA」及び「オートボックス東浦和店」においても店舗改装を行うなど、お客様から「クルマのことならオートボックス」と評価していただける店舗を目指し、集客力の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,268,050千円(前年同期比0.1%減)、営業利益98,129千円(同18.1%減)、経常利益153,858千円(同6.2%減)、四半期純利益71,133千円(同18.8%減)となりました。

なお、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ前年同期に比べ減少している要因は、主に、オートボックス練馬店の新設に伴う広告宣伝費及び消耗品費等の初期費用を計上したことと、当第2四半期累計期間より「資産除去債務に関する会計基準」を適用し、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額22,456千円を計上したためであります。

各品目別の売上高及び構成比率は次の通りであります。

品目別の売上高及び構成比率

(記載金額は百万円未満を切捨)

品目	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
カーエレクトロニクス	1,034	24.2	970	22.7	1,853	21.8
タイヤ・ホイール	740	17.3	852	20.0	1,651	19.5
車内用品・車外用品	634	14.8	691	16.2	1,351	15.9
カースポーツ	446	10.4	405	9.5	855	10.1
ピット・サービス工賃	736	17.2	791	18.5	1,449	17.1
オイル・バッテリー	318	7.5	349	8.2	677	8.0
中古カー用品	81	1.9	—	—	167	2.0
自動車	287	6.7	207	4.9	479	5.6
合計	4,281	100.0	4,268	100.0	8,487	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記表の売上高には、ポイント引当金の計上による売上値引額(前第2四半期は11百万)及びポイント引当金の減少額(当第2四半期は0百万円、前事業年度は20百万円)は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ253,780千円増加し5,461,386千円(前期末比4.9%増)となりました。これは主に、売掛金58,605千円、未収入金43,248千円、有形固定資産101,434千円及び差入保証金167,764千円の増加に対して、現預金142,402千円の減少等があったためであります。

負債につきましては、前期末に比べ213,510千円増加し1,557,743千円(前期末比15.9%増)となりました。これは主に、買掛金126,384千円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)129,738千円及び長期リース債務(流動負債のリース債務を含む)84,115千円の増加に対して、未払法人税等93,174千円及び賞与引当金32,986千円の減少等があったためであります。

純資産につきましては、前期末に比べ40,269千円増加し3,903,643千円(前期末比1.0%増)となりました。これは主に、利益剰余金40,210千円の増加等があったためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ243,527千円減少し、765,669千円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、49,864千円(前第2四半期累計期間は449,642千円獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上126,133千円及び仕入債務の増加額126,384千円に対して未収入金の増加額43,248千円及び法人税等の支払額138,942千円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、385,208千円(前第2四半期累計期間は188,492千円使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出494,250千円及び差入保証金の差入による支出245,000千円に対して、定期預金の払戻による収入390,800千円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、91,815千円(前第2四半期累計期間は84,484千円使用)となりました。これは主に、長期借入による収入200,000に対して長期借入金の返済による支出70,262千円及び配当金の支出30,922千円等があったためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想は、平成22年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、カー用品市場における個人消費動向が高額商品の買い控え等、依然厳しい状況が続くものと推測されるため、前回の発表予想を据え置いております。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益が1,052千円減少し、税引前四半期純利益が23,509千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は39,045千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,256,694	1,399,096
売掛金	415,475	356,869
商品及び製品	1,104,383	1,085,827
その他	425,403	409,848
流動資産合計	3,201,956	3,251,642
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	407,594	397,701
その他(純額)	191,508	99,967
有形固定資産合計	599,103	497,668
無形固定資産		
投資その他の資産	88,495	91,185
差入保証金	1,225,366	1,057,602
その他	346,464	309,506
投資その他の資産合計	1,571,830	1,367,109
固定資産合計	2,259,430	1,955,963
資産合計	5,461,386	5,207,606
負債の部		
流動負債		
買掛金	403,425	277,041
1年内返済予定の長期借入金	147,204	107,124
未払法人税等	56,149	149,324
賞与引当金	105,214	138,200
ポイント引当金	37,115	36,769
その他	195,051	229,636
流動負債合計	944,159	938,095
固定負債		
長期借入金	277,265	187,607
退職給付引当金	211,895	198,951
資産除去債務	40,856	—
その他	83,566	19,579
固定負債合計	613,583	406,137
負債合計	1,557,743	1,344,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,506	510,506
資本剰余金	485,244	485,244
利益剰余金	2,908,386	2,868,175
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,904,051	3,863,841
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△408	△467
評価・換算差額等合計	△408	△467
純資産合計	3,903,643	3,863,373
負債純資産合計	5,461,386	5,207,606

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,270,230	4,268,050
売上原価	2,561,211	2,464,137
売上総利益	1,709,018	1,803,913
販売費及び一般管理費	1,589,159	1,705,783
営業利益	119,859	98,129
営業外収益		
受取利息	5,527	6,545
受取手数料	22,774	31,392
受取協賛金等	—	13,960
その他	20,049	9,506
営業外収益合計	48,351	61,405
営業外費用		
支払利息	3,516	4,400
その他	659	1,276
営業外費用合計	4,176	5,677
経常利益	164,034	153,858
特別利益		
固定資産売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
固定資産除却損	11,182	5,299
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,456
特別損失合計	11,182	27,756
税引前四半期純利益	152,851	126,133
法人税、住民税及び事業税	81,231	49,043
法人税等調整額	△15,996	5,956
法人税等合計	65,235	55,000
四半期純利益	87,615	71,133

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	2,155,629	2,201,921
売上原価	1,273,837	1,240,758
売上総利益	881,791	961,163
販売費及び一般管理費	807,940	850,401
営業利益	73,851	110,761
営業外収益		
受取利息	2,933	3,233
受取手数料	12,331	16,010
受取協賛金等	—	5,715
その他	10,988	4,773
営業外収益合計	26,253	29,732
営業外費用		
支払利息	1,731	2,446
その他	319	166
営業外費用合計	2,051	2,612
経常利益	98,053	137,881
特別利益		
固定資産売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
固定資産除却損	11,182	438
特別損失合計	11,182	438
税引前四半期純利益	86,870	137,474
法人税、住民税及び事業税	31,361	44,861
法人税等調整額	5,732	12,685
法人税等合計	37,093	57,547
四半期純利益	49,776	79,927

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	152,851	126,133
減価償却費	40,181	46,063
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,057	△32,986
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	11,048	346
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,491	12,944
受取利息及び受取配当金	△5,597	△6,624
支払利息	3,516	4,400
有形固定資産除売却損益 (△は益)	11,182	5,268
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,456
差入保証金の家賃相殺額	50,165	52,227
売上債権の増減額 (△は増加)	60,236	△58,605
たな卸資産の増減額 (△は増加)	145,603	△18,455
未収入金の増減額 (△は増加)	△14,703	△43,248
仕入債務の増減額 (△は減少)	95,951	126,384
前受金の増減額 (△は減少)	△87,149	△16,299
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△721	△9,517
その他	△4,624	△17,999
小計	471,491	192,488
利息及び配当金の受取額	713	838
利息の支払額	△3,556	△4,519
法人税等の支払額	△19,005	△138,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,642	49,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△293,050	△494,250
定期預金の払戻による収入	134,200	390,800
有形固定資産の取得による支出	△32,169	△46,024
有形固定資産の売却による収入	—	57
差入保証金の差入による支出	—	△245,000
差入保証金の回収による収入	—	500
貸付金の回収による収入	3,000	9,000
その他	△473	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,492	△385,208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△53,562	△70,262
リース債務の返済による支出	—	△6,999
配当金の支払額	△30,922	△30,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,484	91,815
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	176,665	△243,527
現金及び現金同等物の期首残高	571,453	1,009,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	748,119	765,669

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項は有りません。

(6) セグメント情報

当社は、カー用品の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。